



平成 21 年 10 月 20 日

各 位

会 社 名 日立工機株式会社
 代表者名 取締役社長 小西康之
 (コード番号 6581 東証・大証第 1 部)
 問合せ先 広報室長 山崎晋吾
 (TEL. 03-5783-0601)
 当社の親会社 株式会社日立製作所
 代 表 者 執行役会長兼
 執行役社長 川村 隆
 (コード番号 6501 東・大・名・福・札)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 7 月 27 日に公表した連結業績予想及び平成 21 年 4 月 27 日に公表した個別業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)
 (金額の単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	68,300	3,500	3,200	2,100	20 円 71 銭
今 回 発 表 予 想 (B)	58,200	2,730	2,810	1,600	15 円 78 銭
増 減 額 (B-A)	△10,100	△770	△390	△500	—
増 減 率 (%)	△14.8	△22.0	△12.2	△23.8	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	84,207	10,888	10,009	6,834	67 円 42 銭

2. 平成 22 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)
 (金額の単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	143,000	8,000	7,500	5,000	49 円 32 銭
今 回 発 表 予 想 (B)	129,000	7,000	6,800	4,150	40 円 93 銭
増 減 額 (B-A)	△14,000	△1,000	△700	△850	—
増 減 率 (%)	△9.8	△12.5	△9.3	△17.0	—
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 3 月期)	142,013	12,220	10,012	5,034	49 円 66 銭

3. 平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正（平成21年4月1日～平成21年9月30日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	27,000	500	2,500	2,000	19円73銭
今回発表予想(B)	23,600	350	2,930	2,520	24円85銭
増減額(B-A)	△3,400	△150	430	520	—
増減率(%)	△12.6	△30.0	17.2	26.0	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	39,171	7,224	8,885	6,023	59円42銭

4. 平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	55,000	1,700	4,500	3,400	33円53銭
今回発表予想(B)	48,000	400	3,400	3,000	29円59銭
増減額(B-A)	△7,000	△1,300	△1,100	△400	—
増減率(%)	△12.7	△76.5	△24.4	△11.8	—
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	69,048	8,716	11,655	8,136	80円26銭

5. 修正の理由

当第2四半期累計期間当社は、最適地生産や原価低減を推進し収益力の強化を図りつつ各地域で販路の強化を進めた結果、堅調なドイツを筆頭に西欧やロシアで成果が出始め、業績は概ね回復基調になってまいりましたが、日本や北米、東欧において当初予想よりも厳しい状況が続きました。

年度後半につきましては、国内市場では引き続き厳しい状況が続くと予想されるものの、米欧の主要市場では緩やかながらも回復が期待されます。こうした状況下、中国生産の本格稼働によるエンジン事業の大幅拡大、リチウムイオン製品をはじめとしたコードレス工具の拡販、大手ホームセンターや広域量販店を中心とした販売網の拡充、新規販路の開拓などにより、売上増を図ってまいります。一方、フレキシブルな最適地生産や徹底した原価低減等を強力に推進することで、収益の確保に努めてまいります。

こういった状況を踏まえ今般、連結・個別の第2四半期累計及び通期の業績予想を修正いたします。なお、年度後半の為替レートにつきましては、1米ドル90円、1ユーロ130円を想定しております。

配当につきましては、第1四半期末6円を既にお支払いいたしました。第2、第3四半期末および期末の予想配当金額は、当初のとおりそれぞれ6円、年間配当は24円を予定しております。

（注）上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。

以上